

The role of the third party in the horizontally differentiated market

Akihiro Okumura

Graduate School of Economics, Nagoya University

概要

一眼レフカメラやビデオゲームは、本体であるカメラボディやゲームコンソールと部品であるレンズやゲームソフトとを組み合わせることによって初めて使用可能になる。このようにシステムとして機能する財の市場では本体と部品の両方を生産するファーストパーティに加えて、部品だけを生産するサードパーティが操業している場合がある。その際、ファーストパーティが一般的な部品を供給している一方で、サードパーティはニッチな部品を供給している。本研究は水平的差別化がなされた市場において、サードパーティの参入がファーストパーティの価格付け、利潤にどのような影響を及ぼすのかを分析し、以下の二点を明らかにした。第一に、サードパーティは部品市場が十分に差別化されていた場合に参入する。差別化の度合いが高ければ競争が緩和され、サードパーティは利潤を獲得することができ、参入の余地が存在する。第二に、サードパーティの参入はファーストパーティの利潤を低下させることはなく、却って利潤を上げることさえある。サードパーティの参入によって、ファーストパーティの部品ではシステムを必要しなかったニッチな消費者がシステムを購入するようになり、ファーストパーティに本体の需要増加をもたらす。また、サードパーティの参入はファーストパーティの部品需要を減少させるが、ファーストパーティはサードパーティと競合する部品の価格を著しく下げること、サードパーティとの競合を回避する。それと同時に本体の価格を上げ、部品価格の値下げを本体に転嫁する形で利潤を確保し、結果利潤を増加させる。